京城日報

（年中無休刊）
本紙定價 一ヶ月金九十錢 ...
廣告料金 ...
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 長六千九番 二
振替 京城三〇〇番

大陰謀暴露徑路

デーリー、クロニクル紙は曰く米國に於ける過激主義者の逮捕は全世界に亘る擾亂陰謀暴露したるものにして是等の運動は明かにレニン一派の陰謀家の瑞西到著に始まり彼等は間もなく同國を追はるるや其の本部をスツットガルトに移し同地に於て世界革命計畫を完成したるも英國に對する彼等の計畫は全く失敗に歸したり（倫敦電報）

露國委任統治乎

紐育ウオールド紙華盛頓特派員の探知する所に依れば露國問題は國際聯盟に附議せらるべし而して國際聯盟は露國々內の反過激派地方を列強の委任統治に附するに至るべし卽ち北部露西亞は英國に西伯利は亞米利加及び日本に小露西亞を佛國の委任統治となすべしとの說あり（紐育電報）

二代表派遣せず

支那政府駐米容代理公使より要求せる資本勞働代表派遣の件に就き外交內務財政農商四部にて協議の結果支那は商工業幼稚にして適當なる代表者を物色すること難く且つ各國共勞働者代表者を勞働組合より選出せんことを主張せるも支那には勞働組合無きを以て代理公使の意見に從ひ難し若し商業會議所より選出し資格審査に落選するが如きことあらば國家の體面に關するを以て今回の勞働會議には勞働資本二代表を派遣せざるに決し其旨を返電せり（北京電報）

陳謝條件不實行

寬城子事件の解決未し

寬城子事件に關する日支交渉は今尚ほ奉天長春に於て解決せず一方北京に於ける小幡公使と支那外交部との間の交渉は既に圓滿なる解決を見たるものと信ぜられ居りたるが案外にも支那側より未だ陳謝の意を表する大總統令の條件を實行し來らず小幡公使は十二日外交部に至り定例會議の際此の事を督促して速かに解決せんことを希望せり（北京電報）

三省會議開催

張作霖氏は鮑孫兩督軍濟奉を機とし更に三省會議を開き兵備減縮經費節減幣制整理等に就き協議せり（奉天特電）

生活必需品 輸出制限問題

綿絲輸入稅減免實施されん

政府は物價騰貴の對策調節策として先づ綿絲輸出制限を斷行したるが右の外石炭、木材、砂糖、綿布其の他二三種に對しても同樣輸出制限を加ふる外豆類其の他數種に對しては輸入稅の減額を行ふべしと傳ふる者あり是等の問題に就ては考究調査を怠らざるは勿論なるも既定の綿絲以外輸出制限の適用を急ぐの必要を認め居らず。然れども農商務省は物價の騰貴に對して決して現在の施設を以て滿足するものに非ず然れば場合に依りては生活必需品の價格調節に就き或は傳ふるが如き施設を斷行するの時機無しとは云ひ難きも差當り味噌醬油の原料たる大豆及び綿絲の輸出制限を爲したる關係上綿絲輸入稅の減免に就ては既に止むを得ざるものと認め目下準備中なるも右は勅令改正の關係こ……不在中なれば未だ實施時期は豫知すべからず尙ほ他省との關係もあれば果して本省の豫期する所を完全に實施し得可きや的確に知り難しと農商務當局は語れり（東京電報）

山階宮殿下

山階宮殿下には十四日午後五時四十六分關門連絡船にて下關御著山陽ホテルに御少憩の上同七時十分急行列車にて京都に向はせられたり（下關電報）

參謀秦皇島派遣

張作霖氏は秦皇島武器問題の眞相取調の爲め張參謀を派遣せり（奉天特電）

寺院財產管理法

文部省宗教局にては寺院財產管理法を來期議會に提出すべしとの事なり（東京電報）

英米煙草擴張

奉天英美煙公司は大擴張を計り機械を增置して十二月一日より製造能力を擴大す可し（奉天特電）

保留炭田開放奈何

＝在鮮鑛業家の開放運動

平壤鑛業所の採炭區域たる平壤無煙炭田は鑛床調査の結果平安南道价川、順川、德川、孟山及び江原道三陟の諸郡に布衍し其の品質は平壤無煙炭に劣らざるのみならず堅硬なる塊炭をも存する事判明し燃料の天惠に薄き朝鮮に於ける

唯一の寶庫 と稱せられ特に鑛業家の垂涎措かざる所なるが奈何せん右炭田は總督府の保留鑛區として平壤鑛業所の採掘以外には當局は何者にも開放せざる方針なりしが近時朝鮮の燃料問題は切實に朝鮮產業界を脅威し炭價の昂騰需要超過は世界的の大勢にて內地石炭の移入意の如くならず唯一の供給地たる滿洲炭は今春滿鐵の強硬なる主張の下に供給炭量の減額炭價値上に遭遇し當局の熱心なる交渉も遂に如何ことも爲す能はず所くの如くんば將來燃料問題に就て最も寒心すべき

時代の到來 すべきは明かなる事實となり當局も今日に於て何等か自給の方法を考慮せざるべからざる時となり其方法として前總督時代に於て平壤炭田の採炭量增加を計畫したれども限りある豫算を以てしては到底所期の採掘を爲す事困難にて長谷川前總督も遂に保留炭鑛を適當の方法を以て民間に解放し特許鑛業を營ましめんとの意志を固むるに至りたり然れども右總督府の意見具體化せざるに今夏朝鮮總督府官制改正の事ありて新幹部の著任を見たるが新幹部は朝鮮の燃料問題に就き果して前幹部同斷の意見なるや否やは疑問にて又今日迄の所著任以來諸般緊急政務の輻輳せる際とて此問題に就き未だ

深き研究を 爲し居らず從つて意見に就て何等傳へられたる所なきも諸種の關係及び事情より推定するも恐らく保留炭田の開發には反對ならざる可しとの見地より先般朝鮮興業鐵道會社は右炭田開放を見込み企業し事實上先鞭を付くるに至りたり然るに久しく保留炭田開放を翹望しつゝありし在鮮鑛業家は興鐵會社の此の擧に刺戟せられ愈々公然たる開放運動を起すの必要を感じ曩に代表者十五名の名を以て

齋藤總督に 保留石炭鑛業特許請願を爲し近く鑛業家有志大會を開き更に氣勢を擧げ目的の貫徹に努むる計畫なり右の運動に對し總督府鑛務當局は意見の發表を避け居れるが近く水野政務總監の歸任を俟ち研究の上開放可否及び開放に決せば其の方法等に就き協議すべしと傳へられつゝあり（某消息通談）

關門朝鮮貿易

門司若三港十月中の朝鮮貿易左の如し

▲下關港

	八年十月	昨年同期
移出	[illegible]	[illegible]
移入	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

にして移出重要品は綿布の六十七萬圓を一位とし打綿の二十三萬圓綿絲十九萬圓等是に次ぎ移入重要品は米の二百六十一萬圓を一位とし豆類の五十九萬六千圓活牛三十六萬圓銅塊二十六萬圓牛皮十一萬三千圓等なり

▲門司港

	八年十月	昨年同期
移出	[illegible]	[illegible]
移入	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

にして移出品に於てセメントの五萬七千圓移出品に於て石炭の十三萬八千圓米四萬五千圓等重なるものなり

▲若松港

	八年十月	昨年同期
移出	[illegible]	[illegible]
移入	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

右の中石炭の廿一萬圓を移出の重なるものとし鐵礦の卅九萬圓を移入の重なるものとす（關門支局）

鮮銀券の趨勢

年末の發行豫想幾何

朝鮮並に滿洲に於ける物價の騰貴商取引の膨脹に伴ひ朝鮮銀行券の發行高は昨今既に一億三千四百萬圓を超ゆ之れを前年末の最高發行高一億一千六百萬圓に比すれば一千八百萬圓の膨脹を示せるが本年末の發行高が如何なる數字を示すべきか右の豫斷に先立ち近年の趨勢を見るに左の如し

月次	六年	七年	八年
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]（十四日）
十二月末	[illegible]	[illegible]	

乃ち六年に於ては六月末の三千九百萬圓より年末六千七百萬圓に進み二千八百萬圓の增加約八割の膨脹を來し七年に於ては六月末の六千二百萬圓より年末は一億一千五百萬圓に躍進し五千三百萬圓の增加

八割五分の 膨脹を告げ居れり本年の發行高も六年並に七年の比率を以て進まば優に一億八千四五百萬圓の發行を見るべき筈なれど事實は必ずしも然らず先づ一億六千萬圓臺を以て天井となすにあらずやとの觀測有力なる如し該論の根據とする所は（一）本年は夏期に於ても旺盛にして思惑熱甚しく各銀行の資金放出は行過ぎたる觀あり從て年末資金の急需は既往の如き道程と比率を現さざるべし（二）中部以北の旱魃は米豆の出廻りを減じ旱魃地の購買力を殺ぎ從て

資金の需要 之れを全般的に見て例年の如く甚だしからざらん（三）各銀行の貸出高は既に大體に於てその最高度に近づきつゝあり殊に餘り殖えざるべく（四）八月に於ける各銀行の金融警戒以來商人は漸次思惑心を密め財界の如き何れかと云へば氣勢揚らざる事等にある如し

期米天井

休日二十錢安氣配

十五日の仁川期米後場は阪地氣配うさきに拘らず買方幹部の提灯連正米高と出廻り薄を材料とし中限より踏揚を行ひ四十二圓二十二錢の新高値に突飛し又人氣の集中せる先限は四十五圓七十錢に寄附きしも買物旺盛に五圓九十五錢を破竹の勢ひを以て飛進し將に六圓臺を突破せんとしたるが思ひの値頃に達せしを待ち構へたる南浦筋らしき大賣物出で、七十五錢と押し更に硬軟大激戰の末八十一錢と打ち止めしが中限の四十七圓臺先限の四十六圓臺は正に熱狂相場にして正米を懸け繋ぎ得る程度に達せりと見得べく何れよりするも買揚の結果にて賣米化の恐れあり

傍十六日朝の□□□□拔けも六七十錢の□あり一二十錢安の□□□□四十五圓□□の唱へなりと

興鐵株問題

發起人辯解不法

京城株組合側辯明　今回京城現物組合より賣出せる興鐵株五千株に就て昨紙十三日夕刊所載一發起人の談は全く事實相違し居るのみならず甚だ不穩當なる言ひ分にして本組合の賣出株に對し世間の疑惑を招かしむる如き惑あるは迷惑に堪へざるところなり本組合賣出の株數は確實なるものにして場合によりてはその何人の提供なるかを明示するに躊躇せず何等疑念を挿むべき餘地なきを確言して憚らず抑も一發起人とは何人なるかを知らざるも叩くに不謹愼なる言辭を弄して累を他人に及ぼす如きは戒むべきにあらずや云々

移民承認期

本年東拓にて募集せる移民の承認は下關に出張中なる二宮殖民課長十六日夜歸城の筈につき二十日頃までに之を發表するに至るべく既に大體決定したりと

寺內伯薨去

小原烏兎

虫も鳴かず通夜の灯に俯して思ふ事

伯の朝鮮に在るや轄に隨て南征北旅其幾回なるを知らず今や柩車に隨て伯を送る步々に感なき能はず

小生某會社社長運動の噂ありと聞きて

秋の風人の噂を吹く日哉

人事消息

▲橋本茂雄氏（朝鮮貿易組合聯合會々長）全國同業組合聯合大會出席の爲め十五日出發東上

▲嘉納德三郞氏　十六日朝釜山上陸十時急行にて北行（釜山特電）

▲吉井伯爵　十六日夜行にて釜山へ

▲二宮德氏（東拓殖民課長）同上

財界閑話

▲朝鮮興業鐵道は敷設工事の低廉、平壤と順川炭田の連接その他により前途の有望を發起人達も吹き一般よりも信ぜられてゐた▲所がドコにか欠陷があるのであらう株式公募を終るか終らぬかに早くも某々發起人はその持株を市場に投げ出してゐる▲何故に會社を目論見、何故に會社の發起人となり、何故に發起株を獲得したのであらう不德も亦甚しいではないか▲そんな連中と事業を目論んだ東拓は好い面の皮だが東拓のためにその不仕舞を惜しんでゐる者が多い▲殊に滑稽なのは賛成株の一萬を直ちに分配して終ふと賛成人からの賣物が出るだらうと云ふので內五千を新聞掲載の賛成人のみに頒ち殘りの五千はその分配を控へてゐる▲可笑しな差別の仕方をやつてゐると有識者に笑はれてゐるがその間違で發起株の賣り物が出るなぞあ恐らく稀有株も知らなんだであらう▲尤も中日信託とか云ふ會社は山本悌太郞、日下義雄、井上角五郞なぞと云ふ歷々の名前を勝手に發起人に加へてゐたらしく『一向存じ申さず候』の廣告が諸君の名で新聞に出て居る▲それに比すれば興鐵發起人の發起株賣り逃げ計畫なぞは罪の輕い方かも知れぬ▲仁川取引所の十五日の出來高七十萬石は僞りない記錄のみならず內地に於ても未曾有の事である▲米の定期は日本ばかりであらうから十五日の仁川取引所は世界的記錄を作つたとも云へやう▲これは鮮人投機熱熾烈の反映であるが何しろ取引所は手數料の激增で大喜び若松社長の頭の光が一層鮮やかに見へるらしい▲此の賃貸を具へた仁取株が漸く百八十圓そこ〳〵に留まつてゐるのは本場株でないからさ▲但し一割二分配當豫想の上取株百三十九圓に比し非常に割負けがしてゐる▲これは何と云つても京仁取の資力の貧弱な故だ尤も欠損補塡も重なる利益ですぐ〳〵やうになるらしいから來春は一躍窓であらう

其の日その日

◇總督府は、愈々朝鮮に於ける學制改正を斷行し、現在四年制たる普通學校を、六年に延長せんとす。洵に時流に順應したるの施設として、賛辭を呈するに吝ならず。然れども時代は向上し進步して已まず。朝鮮に於て、漸く六年制の實現を見んとする時、內地に於ては義務教育八年制の、叫ばれつゝあるなり。

◇國際勞働會議に於ける、幼年勞働問題は、滿十四年以下の幼年工使役禁止に成功せんとしつゝあり。果して該案の通過する時、現今我國六年制の義務教育は、兒童をして滿十二年にして卒業せしめ、勞働に從事せんとするも、十四年に達する迄、二箇年の空隙を生ず。此の空隙は、義務教育八年制に依りて救濟すべしと云ふが八年制論者の、理由とする所なり。

◇臺灣は、此點に於て先驅たり。卽ち、本島人教育に八年制を採用し、然も見事に失敗した。後鑑みる所あり、教育令施行の當初三年の歲月を教育令改正に費し、結局六年制に退化せしむるの、已むなきに至れり。之れ徒らに、制度の完美を明にし被教育者の基本的能力に想到せざりし結果に外ならず。

◇堂々門戶を構へ、商品山を爲すも、客の來らざれば商賈に利ならざるの道理なり。普通學校を四年制より、六年制に進めたりとも、就學兒童減ぜば、寧ろ悉く徒勞に終らんのみ。校舍の增築、教員の增加、教科書の編纂等よりも、如何にして兒童を就學せしめ、半途退學を防止するかが目下朝鮮教育上の大問題たるを察すべきなり。

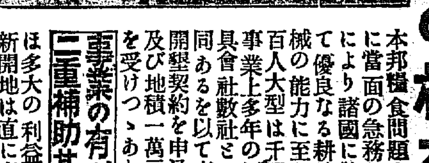
本號四頁　朝刊休刊

大日本機械開墾株式會社株式募集

糧食問題と農業勞働問題の根本的解決!!!

本邦糧食問題の危機に際し新耕地の增加は實に當面の急務たり。本社は最新優秀の機械力により諸國に散在せる幾多の草原林野を拓きて優良なる耕地たらしめんとす。若し夫れ機械の能力に至りては小型も尙ほ五十人中型は四百人大型は千四百人の勞作に匹敵す加ふるに事業上多年の經驗ある技術者を有し又米國農具會社數社との連絡。有力なる實業家等の贊同あるを以て事業の成功期して待つ可く既に開墾契約を申込めるもの茨城縣外一道六縣に及び地積一萬三千餘町步に達し尙ほ陸續申込を受けつゝあり

機械開墾新鮮ノ一作業



事業の有利安全及二重補助其他の特典

本社新式の機械開墾及耕作法は自營によるも尙ほ多大の利益あるや一點の疑なしと雖實際上新開地は直に高價に賣行くを以て資本の固定なくして巨利を擧ぐべし。又社業の一たる新式農用機械器具の販賣は時代の要求に適合せる有利の事業たるや論なし加ふるに開墾助成法及府縣の補助あり、尙ほ新耕地多年の免租低利資金及農業倉庫等に關する幾多の特典あり、又會社は能力に應じて開墾適地の拂下げを受くるの便利益あり。

株主の大利益

時勢に適應せる土地事業の安全なるは云はずもがな荒蕪地を一朝美田たらしむるが爲め土地價格の向上は非常の利益を來さしむ可く株主は四分の一拂込のまゝ年々增大する利益の配當を受くべし、加ふるに幾多の特典あるを以て投資上何等の危險なし又既墾地の分割賣渡等に當り株主は其優先權を得るの便あり。

募集要數

一資本金總額　金五百萬圓
一壹株の金額　金五拾圓
一募集株數　壹萬株（總株數拾萬株の內）
一申込株數單位　拾株以上
一申込期限　大正八年十一月十五日より二十一日迄（臺灣、朝鮮、滿洲及樺太は二十五日まで延期す）
一申込證據金　壹株に付金貳圓五拾錢
一第壹回拂込株金　壹株に付金拾貳圓五拾錢
一募入決定方法　應募株數超過の場合は發起人に於て適宜決定す
●定款目論見書株式申込書及印鑑用紙は左記申込取扱所又は當創立事務所へ御申越次第進呈す。

發起人總代　安樂兼道

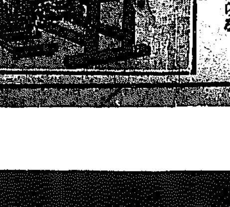
發起人及賛成人（次第不同）○印發起人

東京 ○壹岐保寛　同 ○鈴鹿具顯　同 岩倉音彦　同 石塚鐵治　同 早川秀次郞　同 林　同 農學博士 西垣恒矩　同 星野錫　同 ○得能通要　同 ○大橋新吉　同 ○大瀨久之助　同 渡邊九次郞　同 ○河村之助　同 加藤政孝　同 各務幸一　同 吉井幸藏　同 伯爵 ○横山一平
東京 吉田八百造　同 ○田代豐吉郞　同 ○田代要次郞　同 男爵 寺崎弓彥　同 田所美治　同 ○田代巳代次　同 ○田中巳六　同 工學博士 ○辰巳一　同 男爵 岡田安賢　同 農學博士 佐藤規隆　同 中山瑞彥　同 ○陳居九馬　同 植村俊平　同 ○野村房次郞　同 山口四方吉　同 寺本奎助
東京 ○安樂兼道　神奈川 ○有馬秀雄　神戶 ○阿部範一　名古屋 男爵 赤松範一　男爵 ○調所一門　……　外四百十五名

株式申込及拂込取扱所

東京 村井銀行本店、同支店 …… 大阪 …… 東京證券現物團　合資會社江藤屋商會　神沼信太郎商店　渡邊啓十郎商店

東京市麴町區內幸町一丁目六番地（帝國俱樂部內）
大日本機械開墾株式會社創立事務所
電話新橋二六二番　振替貯金口座東京四九三九二番



特許八九〇式製麵機械　專賣特許發明の元祖　製麵機の覇王
製麵機、製粉機、精米機其他諸機械製作　特約店募集
登錄商標　朝鮮大田本町一丁目　眞崎出張所　振替京城六二六七番

麵機發明の紳曆畏くも天聽に達し發明者眞崎照鄕に藍綬褒章を下賜せらる　眞崎式製麵機械

京日案内　普通一回前金七十錢　番外一回前金壹圓

仁川電話にて金借入たし　仁川宮町 楠本

店員募集、男女數名　京城 三國商會

看護婦及見習 數名至急入用　仁川 佐藤病院

古本高價買入　遠近多少不論御報を乞ふ　京城本町二ノ五九　文光堂書店

店員入用　拾五六歲　京城本町三丁目　電話二六九八番

內外勤招聘　京城黃金町一ノ八 帝國生命保險株式會社　織田東洋館

女中入用 十六七歲　家庭は夫婦二人 生活　京城黃金町一ノ八五 電話五五七番

小使採用 四十歲以上內地人　大正製藥株式會社　賣買 空瓶、石油 電話二〇……　問屋　京城府元町一　電話四一六番　田中商店

拾得金公告　一金六拾八圓貳拾錢也外壹點　右十一月十一日拾得届出アリ心當ノ者ハ申出ラルベシ　京城 本町警察署

仕入諸レッテル のし、包紙、紙袋　見本御入用ハ五拾錢切手送リノ事　大阪南區北□屋町一〇　東仙堂　振替大阪一二三八四一

山田憲否認す
屍體を刻んだのは自分でないと公判廷で陳述

殺人技師山田憲の第三回公判は十五日開會されたるが鈴木の屍體を刻みたるは山田憲に非ずと午後二時半公判廷にて自白せり（東京特電）

不得要領の申立
憲、惣藏互ひに庇ひ合ふ
第三回公判の模様

山憲一味の殺人事件第三回公判は十五日午前十時半より控訴院大法廷に於て開廷せられたるが法廷は裁判開始前より傍聽人を以て滿員となり野頭裁判長より本月一日山田憲方

住宅臨檢 の模様並に神戸區裁判所に審問を囑託したる岩井商店支配人土橋哲太郎は憲より惣藏の就職を依頼せられたるも未だ決定せずとの旨を申立てたりと述べ證人として喚問したる岐阜市呉服屋經營農學士桐山仙一は憲とは大正六年頃農科大學在學中より昵懇なり本年三月十六日朝憲が

岐阜に來 り農會の講演に臨み大垣より歸京の汽車中にて落合ひたるに『世間には奸商がある』と語りたるより『君は外米管理部の係りであるから是等の奸商から賄賂が來るだらう』と云へるに『商品切手などを持つて來るから是等は皆返戻して居る』と語り尚ほ『國家の爲めに人を

殺す位の 度胸が欲しい』など語れりと陳述し次に學生鷲尾久藏の取調あり夫れより京橋區三十間堀金物商瀬沼定次郎は白木が不在中兩面の鋸及び小刀を渡したる旨備ひ人より聞きたる旨を述べ鋸と小刀とを裁判長の手許に提出し十一時四十五分休憩となる午後一時三十分

再び開廷 惣藏は瞬きもせず切斷に關して裁判長よりの問に對し『よく記憶致しません』と答へ裁判長より『男らしく申立てよ』と勵まされて毅然是迄の申し立を否認し『實は私がしたのではありません

他の者が やりました』と述べ裁判長より『然らば誰が殺したか』と追及せられ『矢張り鋸の中で殺しました』と方角違ひの申立てを爲したれば裁判長は聲を勵まし『此處を何處と心得て申立てを二三にするか』と叱責せられたるより惣藏は『只今迄申立てを

一貫せん と努めたるも證據を突き付けられては致し方がありません實は他の二人の者が殺した者にて其の名前だけは申上げることが出來ません』と頑張り裁判長より『被告は教育あり思慮ある者として今日迄惡い事を云ふは成るべく避けたるが唯今迄の申立を

全然否認 することは何事ぞ潔く白白する方男らしからずや』と説きたるも憲は頑として聞かず『殺したのは確かに他の二名の者でありますが其の二名は日本には居りません』と陳述し更に追及せらるるや『殺したのは私一人で渡邊は何等

加擔して は居りません其の夕七時半頃惣藏が訪問した時門を入ると直に是を閉し背後より脊骨を固めて眼を蹴り倒し喉を上から縊殺しました』と再三相違せる申立を爲し續いて渡邊惣藏は『自分がバットにて毆り殺したのに相違なし憲は

自分を助 けんが爲め唯今の如き申立を爲すものなり』と互に讒り合ひ結局要領を得ずして閉廷せり（東京電報）

吉林省でも増俸運動
教員と巡査

物價騰貴と共に勞働問題民主思想の色彩濃厚となり吉林各學校教員各隊巡査等は現俸給にては生活し難しと爲し増俸運動を開始して當局者に請願書を提出せり（奉天特電）

咸南の萬里長城
英傑尹瓘の築いたもの
高麗史上の一大發見　池内東大教授の調査

朝鮮總督府の囑託を受け過般來北鮮に於ける史實調査中なりし池内東大助教授は十三日朝入港の關釜連絡船にて下關著直ちに歸東せり氏は高麗史上一大發見をなしたりとて往訪の記者に語る

今回の研究目的地は咸鏡南道一圓で實地に就き親しく調査の結果高麗史上逸すべからざる事實を發見したそれは英傑尹瓘の功績である從來北鮮地方に殘存する數多の城塞は

女眞族の 襲來を防ぐ爲め妖阻民族の築城したものであると云ふ史實的斷案の下に一般歷史家の認容したものであるが予の探査した處によれば全然之を裏切りこは全く高麗の大將たりし尹瓘の築城せしものであると云ふ確證を得た即ち咸鏡南道に於て

三十箇所 の城塞中九城を發見し此外同道を縱貫する無數の長城の跡をも發見した該長城は恰も萬里の長城に似て高さ……四間の石壁を築き處に整然たるものがある今回發見した九城は五州城四鎭城で五州城は大城にて周圍二十五町乃至三十町に及んで居る又鎭城は是より

規模は小 さいがそれでも周圍十町内外に及んで居る是等の城塞は沃沮族の構築せるもので約數千年前の古代に屬するものとせられて居るが種々なる點より予の考察した處によれば全く尹瓘將軍の築城したもので約七百年前のものであると思ふ云々（關門支局）

『愛の集團』×印は新宮環子女史

感冒が取持つ縁かいな
中條百合子と荒木滋氏

紐育市留學中の閨秀作家中條百合子孃が昨冬流行性感冒に罹はれたる際當時コロンビヤ大學の學生青年會の幹事たりし荒木滋氏が親身も及ばぬ懇なる

看護の勞 を取りたるが縁となり其の後圖書館にも訪問にも旅行にも常に影の形に添ふが如く離るゝ事なかりし兩氏は愈々十月三十日荒木滋氏の誕生日を期して二三の知己を證人に招き結婚披露を行ひ同時に

領事館に も屆出でることゝなつた荒木氏は嚢に師範學校に學べる際教師の渡米を慕ひて桑港に來り十數年間苦學して先頃迄コロンビヤ大學の波斯語科に籍を置き研究しつゝあつたと云ふ百合子孃より

廿歳以上 の年長である紐育の州法は『結婚せざる男女の共同生活を犯罪と認む』との事で外人間には殊に孃の行爲を冷びつゝある者が多かつたのであつた

脅迫す
警察官を　惡むべき不逞漢
原判に服せず控訴

國境方面の不逞鮮人は其狂暴驚くべき者がある咸鏡北道茂山郡津鶴南面龍六洞當時支那間島龍井村居住無職方遂成（三三）は耶蘇教信者で從來神戸神學校に在學研鑽中であつたが朝鮮獨立の

妄想に驅 られ本年四月十三日神戸を出發して間島に到り英國宣教師の經營に係る濟昌病院に潛伏して不逞鮮人と相謀り獨立運動に奔走し鮮人官吏一般に對して直接間接に辭職を勸告脅迫し不穩文書を發行して不穩思想を宣傳しつゝあつたが五月四日

猛虎團の 名義で在間島總領事館警察署外務省警部玄巡査安昌鎬外三名へ脅迫状を郵送し五月十日限り辭職すべし然らざれば殺害すべしと脅迫し五月七日夜玄警部を濟昌病院に呼寄せ方遂成自ら猛虎團長なりと偽つて辭職を強要し更に十一日は

附近山林 に玄警部を呼び不逞の徒四五名と共に指示した期間を過ぎたが未だ辭職しないのは如何なる理由かと詰問して更に今日辭職せざれば射殺すべしと短銃を示し此短銃には彈が入つてゐるぞと威嚇して辭然と一發室に向つて發射し最後の決意を促した此外不逞の

計畫を助 け盛んに脅迫強要を逞しいまゝにしたが間もなく官憲の爲に逮捕され嚴重に取調の末政治に關する脅迫罪として十月廿七日咸興地方法院淸津支廳に於て懲役二年六ケ月に處せられたが此不逞漢は此判決を不服として京城覆審法院に控訴を申立てたので近く同法院の公判に附せらるゝ筈

お馴染のミラーさんが京城の總領事
娘さんは美人で東京生れ　日本畫修業旁一緒に來朝

十三日朝橫濱入港のコレヤ丸では、新任[illegible]米國總領事アール、エム、ミラー氏夫妻が、令孃ミラー孃を伴つて

來朝し た、ミラー氏は語る『自分は四年前京城の副領事を勤め、其後歸國し極東課長を勤め今回再び總領事として朝鮮に赴任することになつた、朝鮮の問題に就ては餘り語りたくない、前總督寺内伯が亡くなられた事を無線

電信で 知り大に驚いた、朝鮮の官制が變り文官制を新に採用した事に就ては今後自分としても關係が深いと云ふ外申上げられぬ』と固く口を噤んだ、同伴のミラー孃は日本畫を研究する爲め當分東京に滯在するさうである、孃は

廿三歳 の美人で、優しい口許から『私は江戸ッ兒です』と流暢な日本語で先づ記者を驚かし『私は十一年前から東京の某日本畫家の弟子になつて畫を學び色の配合を描く事が好きです

日本畫 は油繪と違つて且から絹地の肌觸りが、何とも云はれない心好い感じを與へます、父の朝鮮赴任中私は東京に滯在して研究を續ける心算です』と語つた（東京）

英國飛行機墜落
搭乘將校二名即死

濠洲に向け出發せる英國飛行機は倫敦を去る十二哩なるサビトンにて墜落機體破壞し搭乘せるドグラス大尉ロッス中尉即死せり（倫敦電報）

浮草の女
然も十五の小娘　好んで淪落の淵へ

廣島縣佐伯郡草津町高田久太郎二女高田菊代（一七）は年に似合はぬ樣々な經歷ある淪落の女である彼女は幼少から繼母の手に養育され

養子に 行く事二三回、九歳から十四歳迄は仁川の親族へ養子に來て居たが養母との仲が圓滿でなかつた爲め昨年秋內地の親許に伴れ歸られ郷里の日曜校に通うて居たが同校教師の廣島縣吳市莊山田生吉坂數馬（二三）といふ小柄な金線目鏡の瀟洒な男のピアノを彈じ

讃美歌 を歌ふ姿に憧れ出して遂には數馬の胤を宿し學校にも通はれぬ身となり若干の金を旅費に兩人は手に手を取つて本年一月頃釜山に上陸したものゝ左も右も見知らぬ人計りで身の振方に困り釜山の某商店に奉公したけれども馴れぬ仕事の辛さに仁川へ走り義兄某の許に身を寄せたが四月頃には又もや北家を

拔出し て京城に來た後兩人の運命は更に逆轉して菊代は常に周旋業西堀勝吉の手に依つて咸北定平飲食店須田敬作方に前借二百圓で酌婦稼業に身を沈めた淪落の底に沈み切つた菊代は強らるゝ儘に客取りをして居たが屢々抱へ主敬作から挑まれて幾度か拒絕した爲め

業を煮 した敬作は十月頃彼女を伴て出城し太平通り九州亭に住替させんと同亭に滯在中仁川の養兄の友人某が同亭に立ち寄り計らずも菊代を發見し直ちに電話で通知したので義兄は驚いて取敢ず來城し本町署に保護願を提出したが

頑迷な 敬作は貸金四百七十餘圓を返濟せぬ間は女を渡さぬと強情張るのを本町署の厚意で內地の實父に引渡し保護させる條件で納得させ一旦義兄に引渡した。然し斯く淪落のドン底に落ち切つた菊代が果して故鄕の身にかへれやうか花見は某所に奉職して今は田舍に居ると云ふが如何な夢を結んで居るやら憫む可きは淪落の道である

女先生の群れ
精神的に目覺めた『愛の集團』の努力
女子高普●新宮女史を中心こす

總ての上に改造が叫ばれこの理想が着々實現されてゐます婦人も家庭に匿れて因循と姑息の埒内に居る事を許しません、時代の變遷と共に新しく目覺めた婦人達が純眞な

思想の中 に生きようとする努力と運動が日に日に現はれてゐます朝鮮に於ても內鮮人を問はず多少でも此時代思潮に從つて行く傾向が仄見ねてゐるのは喜ばしい事です、さて東京の帝國修養團幹事長後藤靜香氏の主宰する雜誌に『希望』と云ふ婦人の修養雜誌があります

朝鮮では『愛の集團』の婦人達が此雜誌を愛讀して居ますが此『愛の集團』の教職にある

うら若い 内鮮婦人の團體で女子高等普通學校敎諭新宮環子女史其他が中心となつて覺醒したる婦人の大道を喜び勇んで進まれつゝあるのです、會員數三十、雜誌『希望』の努力と宣傳に共鳴して相共に眞劍な人生を一歩と勇躍邁進して行かうと云ふのです、そして此集團の中では民族や風習などの偏見はなく立派な

内鮮融和 の實績が擧りつゝあるのです新宮女史は語る『私達は後藤先生の心持と一體になつて精神的奮鬪を續けてより善い生活に進まうと努力して居るのです私は過般熊本へ歸省中阿蘇山麓の青年團の講習會場で親しく後藤先生にお目に懸つた上詳細を承はり益々此愛の集團を朝鮮一般にも宣傳致したい思つたので斯うした

精神的の 結合は人の多きを誇るより寧ろ結合の緊密が大切なので只今では會員を募る事は致しません、夫で眞劍な方のみ御集まりを願つてゐますが將來は是非とも朝鮮全般に斯うした婦人の精神的結合を擴めて御互に切磋琢磨してより善い人生に進みたいと思つてゐます』

義醸金
故橘氏遺族へ　一般同情者より募集す

前大阪朝日新聞社特派員橘香橘氏が九月二日南大門驛頭に於て蒙りたる爆彈の創痍終に癒らずして逝したるは世人の深く痛惜する處なり、右に就き大阪朝日新聞社は氏の殉職に對し未だ嘗て類例なき社葬を營み且つ遺族への給與を敎うして生活の安穩を得せしむる等其の待遇懇篤を極めたるが生前同氏と親交厚かりし人々は啻に殉職者としての遺族として大朝社の厚意に委してのみ熄むべきに非ず社會上相當の應酬を與ふるを當然執る可き禮なりとし同志相謀りて汎く知友より應分の義醸金を募りて遺族に贈り子女教養の一端に供し以て其故人に對する責務の一半を果さんとする由にて

飯泉幹太、萩谷籌夫、大垣丈夫、大村友之丞、尾崎要太郎、河野竹之助、辻川富重、釘本藤次郎、牧山耕藏、藤村忠助、播磨四郎助、此經春也、鷲尾春樹、瀬戸潔

諸氏發起人となり醵金の募集を開始せるが醵金は金額に制限を置かず募集期限を本年十二月三十日迄とし届先は京城日報社、京城通信社、朝鮮公論社、朝鮮新聞社及び[illegible]社の五社の取扱に任じ醵金は京城日報朝鮮新聞に掲載して受領證に代へ處分方法は發起人を委員として一任する筈なりと

府内松月洞に強盜現る
現金七十五圓衣類五點を强奪す

十六日午前三時頃府内松月洞十九番地鄭成方に二名の覆面强盜現はれ家人を敲き起し肉切庖丁を突付け『金を出せ出さねば殺すぞ』と脅迫して現金七十七圓五十錢及び衣類五點を强奪逃走したるより其筋に於ては目下犯人嚴探中なりと

傳染病逃出す
辛と取押へてセブランス病院へ

鍾路五丁目百廿番地洪季植（三九）は腸チフスにて總督府醫院に入院中同院を拔け出で蹤跡を晦まし居たるが十四日取押へられセブランス病院に收容されたり

大陸日々新聞訴へらる
共同株式店より

大陸日々新聞は共同株式店三角嘉七氏より連日の記事に對し名譽毀損業務妨害罪として十四日告訴を提起されたり（奉天特電）

○京城鐵工所自祝宴 過般南大門驛擴張工事の爲め蓬萊町より西界洞三十二番地に移轉したる京城鐵工所にては新築披露並に同社創業十三週年記念とを兼ね十五日午後五時より今谷府尹、釘本商議副會頭外京龍實業家數十名を招待し自祝の盛宴を張りしが十六日は引續き同業其他の招待をなす由

株式名義書換停止公告
大正八年十二月一日ヨリ定時株主總會終了ノ日迄株式名義書換ヲ停止致候
大正八年十一月
大日本製糖株式會社

優範 製繩機
▼永久確實に利益を取得せんとする方は資力信用ある當所製作の機械を取引販賣せられたし
▼他店との取引は一割以上高價と知るべし
▼有給代理店希望の方は至急御申込を乞ふ
▼比較は成績の優劣を判斷する一番の近道
有給代理店募集
現品廣告の爲め先着五百臺限 特價提供
稻扱機 格安販賣○取引規定價格表並に說明書進呈
大阪市外中津町上三番○電北九八六　日本農機製作所

電話開通 壹八四六番
京城岡崎町九番地
大正石粉工業株式會社
朝鮮石粉商會

MALTHOID マルソイド
便利瓦中最優良品たる實證を有し、堅牢無比、會社工場の屋根に最も適す
東京麴町有樂町一ノ五（電、本局二一七、四三一八）
內外興業株式會社建築材料部
（支社）大阪、神戸、門司、京城、大連
京城　黄金町二丁目建築材料部　長谷川町一壹六自動車部

右今般大邱商業會議所評議員選擧に際しては格別なる御同情と御援助を賜り難有奉感謝候御蔭樣にて當選の榮を得申候に付茲に謹みて謝意を表し候
（イロハ順）
若林誠助
丸山定市
光成友三郎
推薦者一同

大邱商業會議所評議員選擧に際しては格別なる御同情と御援助を賜り御蔭樣にて當選の榮を得申候段奉感謝候此段不取敢紙上にて御禮申上候
世良朔吉推薦者一同

大邱商業會議所評議員選擧に際しては格別なる御同情と御援助を賜り御蔭樣にて當選の榮を得申候段奉感謝候此段不取敢紙上にて御禮申上候
株式會社大邱銀行推薦者一同

大邱商業會議所評議員選擧に際しては格別なる御同情と御援助を賜り御蔭樣にて當選の榮を得申候段奉感謝候此段不取敢紙上にて御禮申上候
徐相鉉推薦者一同

大邱商業會議所評議員選擧に際しては格別なる御同情と御援助を賜り御蔭樣にて當選の榮を得申候段奉感謝候此段不取敢紙上にて御禮申上候
李章雨推薦者一同

大邱商業會議所評議員選擧に際しては格別なる御同情と御援助を賜り御蔭樣にて當選の榮を得申候段奉感謝候此段不取敢紙上にて御禮申上候
吉村鎭雄推薦者一同

大邱商業會議所評議員選擧に際しては格別なる御同情と御援助を賜り御蔭樣にて當選の榮を得申候段奉感謝候此段不取敢紙上にて御禮申上候
朱相雨推薦者一同

大邱商業會議所評議員選擧に際しては格別なる御同情と御援助を賜り御蔭樣にて當選の榮を得申候段奉感謝候此段不取敢紙上にて御禮申上候
内田六郎推薦者一同

大邱商業會議所評議員選擧に際しては格別なる御同情と御援助を賜り御蔭樣にて當選の榮を得申候段奉感謝候此段不取敢紙上にて御禮申上候
桑野金太郎推薦者一同

大邱商業會議所評議員選擧に際しては格別なる御同情と御援助を賜り御蔭樣にて當選の榮を得申候段奉感謝候此段不取敢紙上にて御禮申上候
永井幸太郎推薦者一同

大邱商業會議所評議員選擧に際しては格別なる御同情と御援助を賜り御蔭樣にて當選の榮を得申候段奉感謝候此段不取敢紙上にて御禮申上候
岩瀬庄助推薦者一同

大邱商業會議所評議員選擧に際しては格別なる御同情と御援助を賜り御蔭樣にて當選の榮を得申候段奉感謝候此段不取敢紙上にて御禮申上候
青木重信推薦者一同

大邱商業會議所評議員選擧に際しては格別なる御同情と御援助を賜り御蔭樣にて當選の榮を得申候段奉感謝候此段不取敢紙上にて御禮申上候
大浦善七推薦者一同

大邱商業會議所評議員選擧に際しては格別なる御同情と御援助を賜り御蔭樣にて當選の榮を得申候段奉感謝候此段不取敢紙上にて御禮申上候
福本新臣推薦者一同

大邱商業會議所評議員選擧に際しては格別なる御同情と御援助を賜り御蔭樣にて當選の榮を得申候段奉感謝候此段不取敢紙上にて御禮申上候
李柄學推薦者一同

大邱商業會議所評議員選擧に際しては格別なる御同情と御援助を賜り御蔭樣にて當選の榮を得申候段奉感謝候此段不取敢紙上にて御禮申上候
寺田釀造合資會社推薦者一同

大邱商業會議所評議員選擧に際しては格別なる御同情と御援助を賜り御蔭樣にて當選の榮を得申候段奉感謝候此段不取敢紙上にて御禮申上候
堺萬次郎推薦者一同

第五版

中部西伯利亞 過激派蜂起か

クラスノヤルスクよりの報道によればミヌシンスクはシチエッキン及びクラウチエンコの指揮する過激派軍の爲めに占領せられ住民の一部は同地北方アバカンスコエ、ノオセ●スコエ及びクラスノヤルスクに避難せりとミヌシンスクはクラスノヤルスクの西アチンスクより南に分岐したる鐵道の終點にして蒙古に近く●ムスク縣南部の重要地なり、レナ河は此方面の山地に水源を有しミヌシンスク、クラスノヤルスクを連絡する水路を成す若し過激派此地に蜂起せば附近困難なる上に鐵路水路によりてアチンスク、クラスノヤルスク等のシベリア中部に於ける重要都邑を脅かす事なきや保し難し然もシベリア中部の鐵道を守備するチエック軍の引揚問題の切迫しつゝあるに於ては同地方の状況は之を輕視する事を許さず（哈爾賓）

事業界の活況 緊張した氣分

釜山の事業界も朝鮮紡績、片倉組が機先を制してより此の方逐日緊張し來り新企業の勃興氣分が漲つて居る、釜山鎭方面では**活牛で成功**した上杉古太郎氏等が大會社設立の奔走中であり、古館方面では某有力者が釜山に某事業の五十萬圓の株式會社を作る可く牧之島方面の有志も**起つて一團**となり同島の發展に資する爲某事業を興すべく目下調査中である（釜山）

營口大豆市況

例年よりも取引薄し

例年結氷前は商人の半年分の仕[illegible]一時に入港船[illegible]は物價の高[illegible]なるが[illegible]多き害なるに[illegible]きこ將來の見込み立たず商人も手控へ居る模樣にて入港船舶は例年に比し少き樣子なり輸出品たる大豆は本年近傍の不作なりしため農家は將來騰貴するものと豫想して賣り惜みのため輸出品は減少し從つて入港船少き由（營口）

鴨綠江の活氣 終航間際にて

鴨綠江の水運界も既に結氷期に近づきたるため各社の汽船は十五六日頃終航となり隨つて鴨綠江を上下する支那戎克和船等も近く不凍港に向つて退船するの時期に迫りたるを以て各貨物の出入に忙しく非常の活氣を呈し居れり今年は降雨到つて少かりしを以て一般支那人は例年より却つて寒冷の酷烈なるべきを豫言し居れるが結氷期は昨年と殆んど大差なかるべし（安東縣）

電話二千圓を 突破せる大連と當局

關東州通信局にては電話の讓渡し料が三千圓臺を突破し投機的讓り渡し益々盛んなる實情に鑑み、之れが防止策に就き考究中の由なりしが、既に大體の成案を得たるが如きも、未だその内容不明なるが要は讓渡を禁じありたる電話に就き一部規則の改正を行ひ讓渡を可能ならしむと共に來年三月迄に架設の豫定なる電話七百個に對しては豫め線の敷設されある場所には至急架設の處置を執り更に九年度架設の分は極力工を急ぐべき模樣の如しと（大連）

錢鈔取引旺盛 日にく活氣を呈す

近來金銀の差鄙變の爲め日々取引活氣を呈しつゝあるが十一日の如き前場に於て金票對小洋票七十四五元より六十九元となり四十萬圓餘出來後場他所入電に由つて七十二元より七十四元に戻り二十萬圓餘の取引出來たるが穀類は例に因つて僅に十車位に過ぎざりき（四平街）

滿洲の米 遼河沿岸のみにて二千萬石以上

滿洲産米日本内地輸出の件に就ては過般來赤塚總領事と張東三省巡閲使との間に交渉を重ね結局北京政府も承認する事となり既報の如く十一月一日より向ふ一年間條件附を以て輸出し得る事となりたるが

未だ全からざる

ものあるを以て猶交渉の歩を進むべきが元來南滿及び東蒙古地方に於いては大正四年の日支協約にて邦人は土地商租に依て農耕を營むを得る事となり居り、就中水稻作に就ては滿蒙土著人は殆ご經驗を有せず、膨漠たる水田

好適地も空しく

蘆荻茂るに任すのみ近時鮮農の僅に移住斯業に從事するものあるに至れるが未だ微々稱するに足らず若し防穀令の撤廢を得て水稻に堪能なる日本内地人又は

鮮人に開發さる

に至らば滿蒙に於ける米産の將來は測るべからざるものあらん一方之に依て内地米穀の調節に資するを得さしめば

實に一擧三得こ

も云ふべきか而して滿洲に於ける水田適地はその範圍頗る廣汎なるが就中

最も有望なるは

遼河沿岸にして專門家の實査に依る觀測に此の方面のみにても二千萬石以上の産出を得べしと云ふ（大連）

市吏員の優遇 大連にて更に五割増

大連市役所にては大正八年度歳入出豫算更正並に給與規程宿舍料給與規程等の改正に基づき目下之が實施の手續中なるが、今回の增俸は從來手當として支給しゐたる三割を加算したるものを本俸とし新に五割の手當を支給する由尚右の結果歳出豫算の增額は一萬三千圓なりと（大連）

▼仁俠の面長▲ 全南谷城郡谷城面長申秀泰氏は物價騰貴に對し可及的面費を節約せんこて其手初めに自己の報酬手當を辭せりさ

▼募株の好況▲ 遼陽の鞍山信託新株應募は朝鮮銀行の約二千株其他既に豫定の四倍に達しプレミヤム最高廿五圓に及びたりさいふ

▼左官が十圓▲ 製鐵所開始の爲め非常に賑はふ滿洲の鞍山にて結氷季を目の前に控へ左官の日當十圓さは大した景氣さいふべし

▼大した月給▲ 滿鐵今回の增給にて最下級の驛夫すら八十四五圓の實收あるより滿洲各地諸會社被傭人の腰が据らずさ傳へらる

▼教員を優遇▲ 釜山にては小學教員の缺員多く補充に困難し居れるが現在教員に對しては夫れ／＼增給することに決したりさ

▼感ずべき娘▲ 長男は入營し老父は失明せる五人暮しの家を電話交換手の長女一人で養へるは清津浦項非原伊三郎一家なり

▼大耳ならず▲ 前記入營中の長男政雄は隊より支給の小遣を節儉し許可を得て母に送りつゝありとは共に感ずべき兄妹の美談なり

▼行金の費消▲ 殖産銀行の城津出張所員阿部正孝（三五）外三名は行金を費消せる爲詐欺横領罪名にて起訴され審理中

▼酒に殺さる▲ 木浦の漁夫長崎縣生れ西田好太郎（二四）は大酒の爲め精神に異狀を呈し露西亞山上の松の木にて縊死したりさ

營口の會社熱 券番株式會社までも

營口の發展を豫期して諸種の會社計畫せられつゝあり重なるものを上ぐれば證券信託會社、物會社、取引所、製氷會社、水産會社、藝妓券番等續々設立せらる、模樣なり（營口）

結氷前の賑ひ 奧地出稼苦力の引揚

結氷前には奧地に出稼ぎし居る苦力は各歸國のため營口より乘船するもの多く隨つて著車毎に數百名を吐き出すを例こせしが本年も同樣にて每夜九時五十分著の列車は殊に多く夫れのみならず撫順炭坑募集苦力續々出掛くるありて著發毎に停車場は苦力にて大いに賑ひ居れり（營口）

渡船と除穢（釜山）

釜山府牧之島渡船汚物掃除の兩事業は著々準備整ひ改善中なるが其第一歩として前者は東部西部南濱の各繫船棧橋の大修繕をなすべく競爭入札に附する由尚先般神戸より購入せる日の出丸は目下牧之島中村造船所にて内部の構造改善中にて二三日内に竣成の筈

修學旅行記 第四通信

京城中學校教員養成所 池田生

廿一日午後一時頃大阪梅田驛に下車。宿へ就く前に中之島公園へ重たい足を運んだ。大きい石造の難波橋こ、だぶ／＼こ溢れる許りの河水には、私等の心が引きつけられた。水は奇麗ではないが倒さに美しい建物の影を寫した姿は大阪を美的化してる樣に見ゐる。京橋二丁目の大和屋に着いてみるこ小奇麗の私等の部屋は大川にのぞんで、居て欄干にもたれて眺むるこ、長さ百三十間の大鐵橋、日本三大橋の一たる天神橋が見ゐる。▲電車できたら、じきだつしやろ。此の棧橋が二千何百萬圓もかけて出來たのだす。幅が十五間、長さが二百五十間もおますかい。ごないな大けな軍艦でも着けだつせ。大阪灣の風景も宜しゆおまつしやろ」こ說明された大阪灣を見物に出掛けた。明くれば十一月一日午前八時半宿を出て造幣局を見物し大阪城を訪ふては幾度か驚嘆した。天守閣は石壘のみとゞめて敗壊になつて居る。其の上に立つて眺めるこ大阪市東部一帶の地は眼下に見下すことが出來る。砲兵工廠煤煙をへだて、黄金の波をたゞへた米のなる木が見ゐる今此城を眺めて私等には言ふこへこ起つてくる。その昔豐臣方この出來ない感がそれからそれ勇士の血や淚や劍や、智や凡て德川勢の爲め敗殘の憂目に逢つて消ゐ去つた。また勝ち誇つたものも、權おごろへて今は去の年の面影はない。何も一時の時の戯だ。さうだ時の戯だ。こうして私は眺めてるが、さていかになり行くであらうか。いつ迄立つて居ても感慨は絕ゐない。大阪城の堀をめぐつて砲兵工廠に行つた。人を生かすために人を殺す幾多の文明の利器が言ひ知れぬ機械の力に依つて造られて居た。砲兵工廠を出た私等は電車で天王寺に參拜し鳩に豆を與へ五重之塔にのぼつて市街を見下し、所謂浩然の氣こかを養ひ、のんびりこした心でこんごは公園の方へ行つて通天閣に昇つた。それから國產陳列所を訪ふては土產物を求め宿へ歸つた。かくして私等は標の都水の都のこの大阪に第二夜の夢を結ぶこゝとなつたのである。

キットきく效く（五大博士實驗證明）高級婦人藥

命の母

増田博士及佐藤、頭巻、北島、三醫學士共著 女一代の衛生（美本一册） 何人にも無代にて送呈

東京京橋新榮町四丁目 笹岡省三藥房 振替東京五〇五〇番 電 京 二二〇〇番

藥價 ◎十一日分（一日分四十錢）五日分一圓、二週間分一圓五十錢、五週間分四圓七十五錢 全國有名藥店にて販賣 本舖へ御注文の節は送料不要

最新刊

博文館發行 大正九年當用日記 大形一、一〇 中形上製一、〇〇 中形普通 小形

積善館發行 大正九年當用日記 四六版上製八五、〇八 特製九五、〇八

積善館發行懐中日記

ポケット日記

京城本町一丁目 大阪屋號 電話 振替京城二五七三番

小野 京城義州通一丁目 紙類專門分工場 電話二二四三番 ▲營工場製品は品質本位こし價格も亦最も低廉なり

此れぞオバランドの本領たり

◉乘合會社を發起せんとする人は是非共一應オバランド車を研究あれ

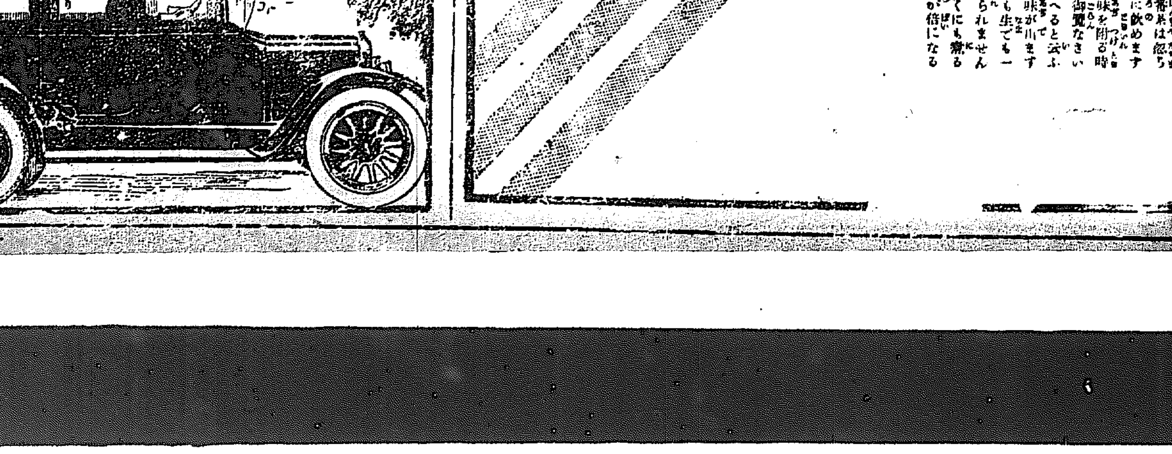
○其車輛堅牢、機關完全にして然も揮發油、圓滑油消費の他車に比し極度に少量なるは實地使用者の悉く證明せらるゝ處たり

◎幌型、函型、乘合車 荷物車壹噸ヨリ參噸迄 各種在荷豐富

◎說明書、見積書、圖面 御申越次第無料呈送可仕候

ゼーエッヂモーリス商會 京城府貞洞拾九番地

ウイリスオーヴアランド會社 米國オハイオ州トレド市



小麥の蛋白質を以て精製せる最新調味料

味の素

味の素をお使ひなさい！

美味しいお料理が手際よく出來ます

文明的調味料味の素は東京帝國大學理科大學教授池田理學博士の發明に係り小麥の蛋白質を原料として精製せるものにして日英米佛各國政府の專賣特許を得たり共調味料としての價値に就ては夙に學者諸賢の賞讃と社會一般の定評あるところなり本品は屢々宮内省御買上の光榮を忝ふし、又内外博覽會に於て常に名譽の金牌を受領せり。

■味の素 調味の栞

吸物 鹽と湯さへあれば即席に味よく拵へられます

さしみ や香の物の醬油に加れば甚く程味がよろしく

煮物 に入るれば鰹節が要らない程味がよくなります

酢の物 ひたし物にかける花鰹より味も體裁もよく

茶 に入れると番茶は忽ち最上の玉露に飲めます

よせ物 砂糖や鹽で味を附る時少々入れて御覧なさい

味噌汁 味噌汁に加へると云ふに云はれぬ味が出ます

鷄卵 燒ても煮ても生でも一度入たら忘られません

豆腐 きせいで燒くにも煮るにも少で味が倍になる

連絡船上陸客

伊達騒動

第六十一席

小金井芦洲講演

忍術で殺す企て

そこで四人の死骸を手早く取片附けさせ、鶴千代君のお座敷の間近い所でございますからスッパリ跡を淨める、先づ一場の騒動は是れで濟みましたやうなもの、天下の三大諸侯と云はれる伊達家の大奥に斯んなことがあつたとは何としても世間に發表することは出來ない、由つて穏便に濟ましたやうなもの、甲は乙を疑ひ乙は甲を疑ふ、隣同士に坐つて居りましても汗潤は物も云はれぬと云ふ不思議な有様になつて參りました、軈て兵部少輔は屋敷に立戻りまして、北浮餘炎が冷めてから人知れず原田甲斐を屋敷に呼び 兵『扨て甲斐、先達てのことは何とも彼とも申さうやうもない殘念なことであつたがア、致したので調べの手整を失つて聊か安堵の途は付いたが……甲『イエ御後見、彼の時はさりとては旨い都合に行きました、能く思ひ切つて道益をお販り棄てになりましたな 兵『飴程工合は悪かつたが思ひ切つてやつてしまつた、併しさきは醫師丹三郎と云ふ奴、彼さへ返り忠をいたさなければ、今頃は鶴千代を失つて伊達家は吾手中に這入つたものを、然し乍鶴千代の命運に彼が逃れぬ運、やる所まではやつて退けなければならぬが容易ならぬ奴は彼の松前鐵之助、道益を斬捨て、其の序に鶴千代を斬つて仕舞はうと血刀を提て前に進まうとしたが、彼のために支へられ、甲の當然ぢやから鐵之助うなく血刀を拭うて寄る所へ骸岐守に來られてしまうた 甲『ハア、左様でございましたな 兵『第二の手段ぢやが甲斐何とか外に好い工風はあるまいか 甲『左様……』暫らく腕を組んで考へて居りましたが甲斐がポンと膝を拍つて 甲『好いことがございます、忍びの者を入れてお館を探させませう 兵『忍びの者と申すと 甲『忍術者……忍術を能う致す者に管野小助と云ふ者がございます 兵『ウム……、能く忍術なんぞと云ふことを昔から申傳へるが、確かに役に立つものかのう 甲『彼は伊賀流の忍術の達人、誠に珍らしき巧のことを致します、萬事私にお任せ下さいまし 兵『好きなに取計らへ……』甲『畏まりました』斯う云つて甲斐が引受けた、お小人目付三百石管野小助と云ふ者に申付けて茲に鶴千代の寢間へ忍び込ませることになる、此の忍術と云ふものは昔は戰場などでも用ゐられたやうで、彼の徳川家康公は本多忠勝守と云ふ忍術者を用ゐ、眞田幸村は霧隠才藏を用ひた、舊幕時代に麻布の飯倉に甲賀組伊賀組と云ふ同心の拝領地がありました、これは甲賀流伊賀流の忍術者を二タ組にして置きましたもので、其の眞中に小さな橋が掛つて居た、甲賀伊賀橋、後世訛つて弊橋となつたのでございます、信州松本六萬石松平丹波守のお家に芥川九郎右衛門と云ふ忍術者がありました、これは忍術者でも日本一と聞こえた人で、又勢州津の大藩藤堂大學頭高房侯の家臣に五百石を賜はつた、服部半藏と云ふ忍術者があつた、殿様も五百石は遣はしてお置きになるが僭て其手際を見たことがない或日傍近くお招きになつて 殿『コリヤ大膳 大『ハ、 殿『其方に五百石を遣はして斯うやつて扶持致して置くが忍術と云ふものは、其方が忍術者であることを心得て居る者の前では施すことが出來まい、どうだ 大『恐れながら左様なことでは却々斯く高禄を頂戴して御奉公をいたして居る甲斐がございません』

富士製菓株式會社 ミルクキャラメル

京 呉服 たまや出張店 明治町二 電話二九六

人蔘エキス 京城本町壹 電話 一四八〇番 一八七〇番 津村兄弟商會

ローヤル石鹸 安カローヨカローナンボ荒テモスグ直ル朝夕顔洗ニハ 輸入元 京城 ビワコ屋糸店 小間物藥店ニアリ 電話五〇五番

主婦の手帳から

◇蕗菊豆腐炒り◇ 蕗菊も豆腐も一丁宛を笊で水氣を去つて細かくし、之れに水に浸した椎茸を刻んで一緒に深い鍋に入れ先づ胡麻の油で少しの間炒り、それからスープ若くは煮出しを入れ、更に酒と醤油で味を付け三十分間程炒煮にします

◇大根のスプー煮◇ 大根を厚く輪切りにして暫らく水煮にします軟らかくなつたら鶏の骨みを煮出したスープを加へ更に沸騰したら醤油、酒、砂糖を入れてとろ火でコトコト煮ます鶏の骨は一羽五錢位です

十一月十八日

(舊)九月廿六日 火曜日 きのへいぬ 黄▲佛滅 さつ

▲五黄 思ふ様に行かぬ日なり ▲六白 辛抱の仕甲斐ある日也 ▲七赤 隆盛の日なり何事に用ゐても吉なれど輕はづみを戒む ▲八白 動搖ある日なれど慎重に考へた上物事に當らば吉なり ▲九紫 見かけ倒しの事ある日 ▲一白 輕はづみを慎むべき日 ▲二黒 氣の傷らく〳〵する日なれど深く考ふれば合點の行く日 ▲三碧 思ひ設けぬ事で名譽の揚る事あり品行を正しくすべし ▲四緑 男女間の關係にて喜びごとのあるやも知れざる日なり

皮膚科 黴毒科 (診察夜九時迄) 皮膚 黴毒 痳病 (入院隨意) 京城明治町二丁目 佐藤醫院 電話一七壹參

演藝案内

大正館 日本活動寫眞會社代理店 櫻井町 電話八七三

▲當る十四日より逸品映畫提供 ▲實寫『米國に於ける石井大使』 ▲滑稽劇『スターリング取締』 ▲米國見落す事の出來ざる新輸入映畫 トライアングル、ケービー社作 ▼孤島『非運の船』 全五巻 ▼悲話 噂の如くユ社を去りトライアングル社に入り益々人氣沸騰せる名優クレイル、マクドウエル嬢の傑作特にウイリ、キッテン氏と共に演ぜられし逸品洋上の波濤と浮世の荒浪と血と涙みの悲活劇 ▲日活會社本年度新撮影 尾上松之助、中村扇太郎大合同劇 ▼實錄『鈴木主水』 全五巻 ▲俗な唄によつて有名な鈴木主水は色の紅燈のかげに其皆色に溺れて家を忘れ妻子を捨てゝ顧みなかつた墮落せる大雄篇 ▲毎月一日十五日日曜祭日晝夜開館

壽館 本町二丁目 電話一〇五〇

▲當る拾壹月十五日より開演 ▲新派の無敵 京山水月一行 初日讀物(十五日) ◎水戸黄門記 甲雲軒 福右衛門 ◎一休問答 ◎義士傳 ◎加賀騒動 ◎角力と町奴 ◎大村家の破亂 ◎西南騒動 右二席長講にて御清聽に供し候 京山水月

黄金館 黄金町 電話二三七

天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手特約代理店 ▲當る十四日より特別興行料金普通 ▲喜劇『ハムの家』 澤村四郎五郎 市川延十郎 一派十八番 ▲新派悲劇 南崎の猫 全四巻 ▲佛國 大活東京本社最新撮影の逸品 エクリップス映 ▲大悲劇 呪の瀑 全五巻 美人の罪か、大自然の威力か、蜜よりも甘く白雪よりも清き ▲英國 ▲新派悲劇 一樹の陰 全三巻 ○當館の階下全部煖房の設備も出來て居ります

大正館

初日十一月 滿員御禮 鈴木主水 孤島 非運の船

浪花館

▲落語特別巡行團 橘家圓次郎大一座 ▲昔はなし ▲落語手品 ▲滑稽手品 ▲笑話 ▲通俗講談 ▲音曲はなし ▲落語扇舞 ▲人情はなし ▲珍品一人角力 ▲笑話踊り ▲濱遊の賑松の誇 社中總出 橘圓次郎 右一行二十日より開演

喜樂館 本町一丁目 電話九七番

▲當る拾四日より特撰二大映畫提供 ▲米國 勇敢なる英海軍 ブルーマーさ大 メトロ會社特撰映畫 ▲人情 名優ハロルド ロックウード氏 幽靈服 全五巻 ▲新派 新野崎村 全七巻

世界を明るくする笑顔

笑顔を美しくする

クラブ歯磨

御注意

歯が悪いと頬や顔の形が崩れて口元の愛嬌を損じ間接には胃腸の障碍を起して一般健康を害する結果お顔の色が悪くなります之を防ぐには効力第一のクラブ歯磨の御常用が絶對に必要でございます

毎日クラブ歯磨を使つて歯を良くなさいませ……毎日クラブ歯磨を使つて歯を白く美くなさいませ

クラブ 白粉本店 謹製品

京城日報代理部

金鶴香水

金鶴香水は佛國巴里に古い歷史の有るリゴード會社が各位の御嗜好に適する様苦心製出し初めて發賣致しましてから來來卅有餘年幸ひ皆様から品質に於て香氣に於て價格に於て非常な好評を賜りまして年々其賣上高も激増致して居ります、以前は香水を形式的に無意味に使はれて居ましたのが社交上衛生上欽くべからざる事が了解せられ又一面には其金鶴香水が療法にも有効なことが最近發見されハンカチに御召物に用いた金鶴香水の一滴から發散する芳香は人も我も快感を呼ぶと同時に身體内外の殺菌消毒作用を有つて居る事を實證されました萬望益々御愛用を賜らんことを

香水日本輸入元 大阪 大崎組商會
花王石鹸製造元 東京 長瀬商會
香水關東代理店

大阪商船汽船出帆

(仁川出帆) △鎭南浦大阪行 △金澤丸 十一月十五日正午出 △群山、大阪行 △大進丸 十一月十八日後四出 △三瓶山丸 十一月十六日後四出 (元山出帆) 清津行 安平丸 十一月十九日後九時出 △釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 安平丸 十一月廿五日後十二時 (大連出帆) 上海、基隆、打狗行 湖北丸 十一月 日前六時出 基隆丸 十一月廿四日前六時出 內地各港出帆は省略 歐洲行 一年四回 南米行 一年四回 北米行 毎月一回 濠洲行 毎月一回 南洋行 毎月一回 ○御注意 外國航路の旅客切符御購入の時は一割五分引、除 諸般の船客御取扱 ◎御託送荷物は本社にて一時御預り無賃にて御送付 京城 大阪商船株式會社 仁川支店 電話二二番 二〇五五番

共同汽船仁川出帆

▲奏皇島行 第十二共同丸 十一月 日 午後入港 正午出帆 ▲青島直行 第十六共同丸 十一月八日 午後入港 十一月十日 午前出帆 ▲大連直行 第十三共同丸 日 午後入港 正午出帆 朝鮮鐵道主要驛にて荷客聯絡 大連にて青島行定期船接續荷客聯絡 阿波共同汽船株式會社 本町四丁目 電話 仁川代理店 野口商會 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 南大門 河村運送店

朝鮮郵船出帆

大阪朝鮮等の爲め發着月時變更する場合有之候に付詳細は本社又は各支店出張所代理店に付御照會相成度候 ▲致鎭行 城津、元山經由 京神丸 十一月十八日 清津發 十一月廿一日 元山發 ▲浦汐行 大阪、門司、釜山、城津、清津經由 平安丸 十一月廿四日 釜山發 十一月廿六日 元山發 ▲雄基行 關門發釜山各港經由 京畿丸 十一月十七日 釜山發 十一月二十日 元山發 雄基丸 十一月廿一日 釜山發 十一月廿五日 元山發 ▲元山雄基線 元山經由各港經由 隱城丸 十一月十六日 元山發 ▲大阪行 浦潮、城津、元山、釜山、關門、神戸經由 春日丸 十一月廿七日 元山發 十一月廿九日 釜山發 ▲關門行 城津發、清津、城津、元山、各港經由 咸鏡丸 十一月廿五日 元山發 十一月廿八日 釜山發 雄基丸 十一月廿七日 元山發 十一月二十日 釜山發 ▲濟州島行 釜山發 各地經由 孤圖丸 十一月十七日 釜山發 ○宗信丸 ○慶資丸 濟州島行 金海丸 十一月廿一日 釜山發 ▲濟州島行 由西歸浦 慶興丸 十一月廿五日 木浦發 公州丸 十一月廿五日 木浦發 ▲釜山麗水線 釜山麗水往復 順天丸 十一月十九日 木浦發 ▲多島海行 木浦發多島海各島行 慶興丸 十一月二十日 木浦發 ▲木浦行 仁川發各地經由 江田島丸 十一月廿一日 仁川發 ▲海州行 ○全州丸 ○南陽丸 仁川海州相互ヨリ毎日一回出帆 ▲鎭南浦行 仁川發各港經由 宗信丸 十一月十八日 仁川發 ▲大連青島行 仁川發芝罘經由 江原丸 十一月廿六日 仁川發

本社 京城南大門通 (電話長三三〇 新長三三三) 釜山支店 佐藤町 元山出張所 海岸通 仁川代理店 堀回漕部 木浦代理店 山野回漕部 京城荷客取扱店 南大門 松原運送店 其他各寄港地ニ荷客取扱店 電話長一〇七